

31. 胆管胆道シンチグラフィの限界を示す1例について……………久保田昌宏他…630
32. 肝疾患における $^{99m}\text{Tc-PI}$ の使用経験……………守谷 保夫他…631
33. $^{67}\text{Ga Citrate}$ による肺癌と肺結核の鑑別診断……………西條 登他…631
34. ^{201}Tl の摂取を認めなかった縦隔腫瘍の1例……………久保田昌宏他…632
35. 悪性リンパ腫の ^{67}Ga シンチグラフィーとリンパ管造影の比較検討……………大久保 整…632

一 般 講 演

1. SCC-1050W 型ホールボディスキャナーの使用経験

○表 英彦 光崎 豪
鉄木幸太郎 勝浦 秀則
(北大病院・放部)
古舘 正従 伊藤 和夫
(同・放)

本装置について、コリメーターなどについて基礎的検討を行なったので使用経験と共に報告する。標準装備されているコリメーター4種類について、感度、Line Source を用いて測定した FWHM を ^{99m}Tc , ^{67}Ga , ^{131}I の3核種で比較し、実際の検査で使用される核種ごとのコリメーターを決定した。水中、空中での解像力曲線は、ほとんど差がないが、最高感度部は水中でコリメーター側にずれる結果となった。cut off は10~20%, contrast は1~2までが実用上限界であり、それ以上は必要な情報も失われる可能性がある。 ^{67}Ga は3ピーク全て集めた場合、1ピークの場合と比較し画質を落さずにスキンスピードを約2倍にできた。本装置の利点は、ID の表示により一定のシンチグラムが得られる。仰臥位で側面スキャンが可能。プログラムスキャンができることなどであり、問題点はスリットを自由に選択できない。低エネルギーコリメーターの種類が少ない。スキャン幅が狭いことなどである。

2. ピッカー社製 DINA-4C 型ガンマカメラによる肝シンチグラフィの条件設定

浦波 賢二 蛭名 豊
坂井 典夫 斉藤 勲
浜林 幸信
(留萌市立病院・放)
西條 登 山口 一行
田中 瑞穂
(同・内)
高橋貞一郎
(札幌大・放)

ID と連動する自動露出装置をもつ、DINA-4C 型カメラを使用し、ID 6,000 を当病院の肝シンチグラムフォートの条件としている。吸収体をもつ肝ファントムで、ID 9,000 までのフォートを作った結果、写真診断的に、ID を増やすことにより、解像力は上昇するが、ID 6,000 以上は大きな差はなく、イメージングの時間上の問題からも、ID 6,000 を十分満足できる条件として採用している。また、Defect の大きくある肝シンチグラフィにおいては、ID 設定ポイントを Defe にして、全体の情報量をあげて、写真診断効果を高めている。